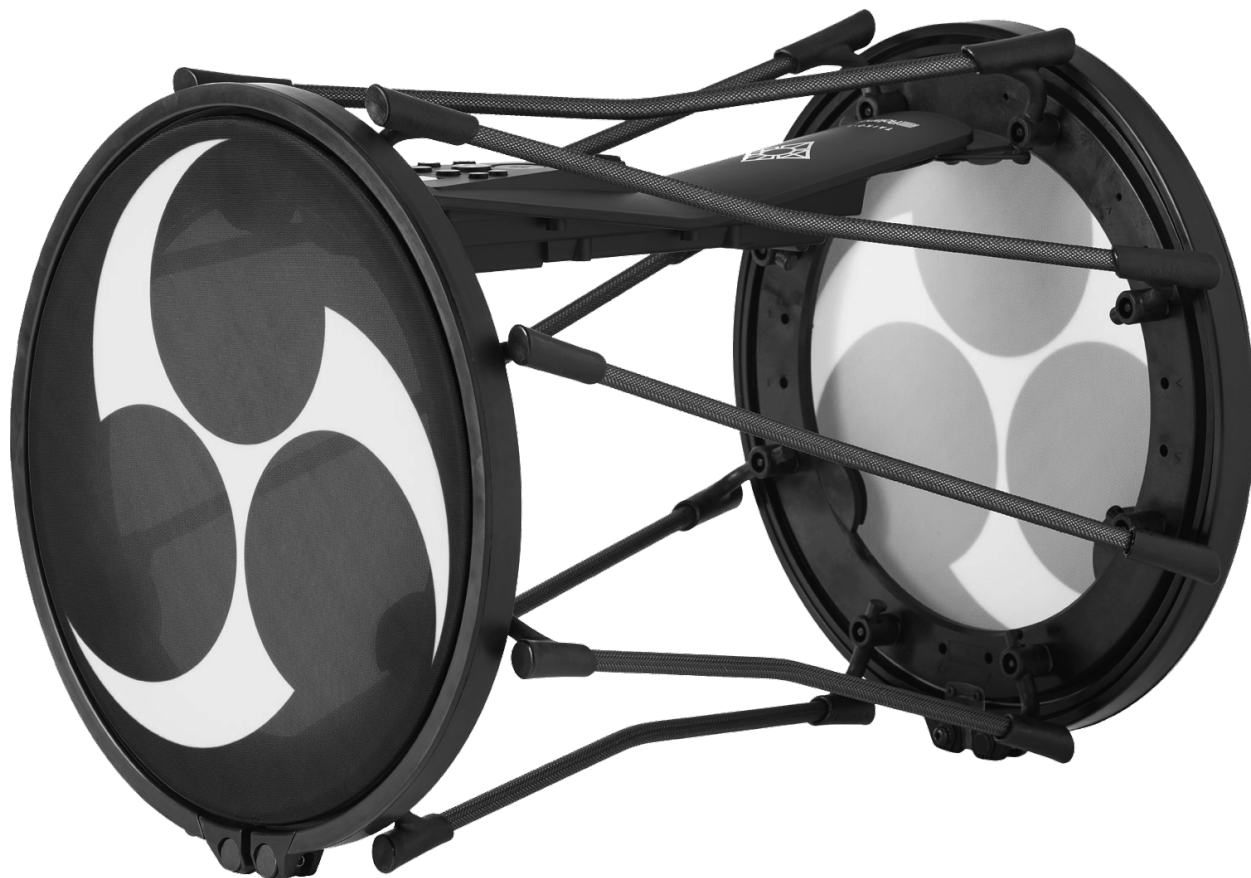




TAIKO-1

Electronic Taiko Percussion

取扱説明書



取扱説明書 (本書)

最初に読んでください。基本的な操作方法について説明しています。

PDF マニュアル (Web からダウンロード)

• TAIKO-1 リファレンス・マニュアル

TAIKO-1のすべての機能とパラメーターについて解説しています。

PDF マニュアルの入手方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。
<http://www.roland.co.jp/manuals/>



2. 製品名「TAIKO-1」を選んでください。



本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」(『安全上のご注意』チラシと取扱説明書 (P.2))をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2020 Roland Corporation

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

安全上のご注意

⚠ 警告

Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください (P.13)。

付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。

⚠ 警告

付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

⚠ 注意

小さな部品はお子様の手が届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。

- ・ 付属品
ゴム・リング (P.4)
- ・ 取りはずしが可能な部品
ネジ (P.5)

使用上のご注意

電源について

- ・ AC アダプターは、文字が表示された面が下になるように設置してください。

電池について

- ・ 電池で使用する場合はニッケル水素電池を使用してください。

修理について

- ・ 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合があります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・ 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- ・ 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- ・ 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ・ ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。
- ・ 本機は、演奏時の打撃音を小さくする設計になっていますが、床や壁を通じての振動は意外によく伝わります。特にヘッドホン使用時の演奏は、隣近所に迷惑がからないように注意しましょう。
- ・ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

- ・ 打面部のゴム部品には、性能維持のために劣化防止剤などを塗布してあります。時間経過に伴い、これらの添加剤が表面に現れて、白く汚れたように見えたり、製品検査時のスティック痕が見えたりする場合がありますが、製品の性能や機能には影響ありませんので、安心してお使いください。
- ・ ご使用の年月とともに、パッドのゴム表面が変色することがありますが、使用上影響はありません。
- ・ 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

外部メモリーの取り扱い

- ・ 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
 - ・ 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
 - ・ 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。

電波に関する注意

- ・ 以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 本製品を分解／改造する
 - ・ 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがす
 - ・ 本製品を購入した国以外で使用する
- ・ 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）や特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
- ・ 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して、万一、本機が原因と思われる有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の放射を停止した上で、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてローランドお客様相談センターにご相談ください。
- ・ その他、発生した問題についてお困りの場合も、ローランドお客様相談センターにご相談ください。
 - ※ ローランドお客様相談センターへの連絡につきましては、取扱説明書などに記載の「お問い合わせの窓口」をご覧ください。
- ・ 認証取得済みの特定無線設備を搭載しています。

知的財産権について

第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。

第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。

製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。

製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をするに関しては、当社の許諾を必要としません。

製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。

本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

本製品は、T-Engine フォーラム (www.tron.org) の T-license 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。

Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。

文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

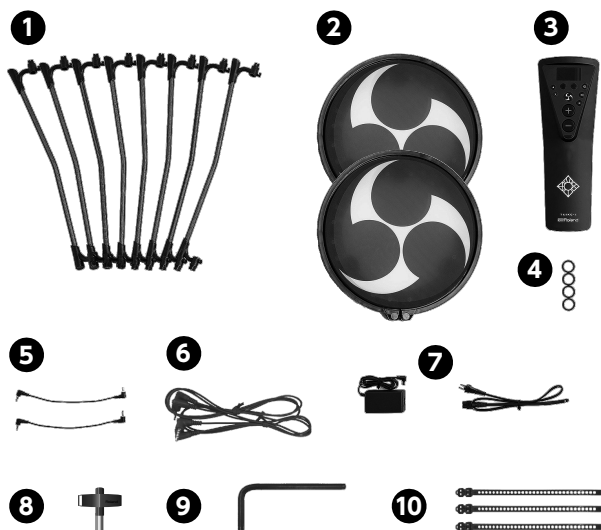
目次

安全上のご注意.....	2
使用上のご注意.....	2
組み立てかた	3
◇ 部品の確認.....	3
◇ 組み立てる.....	4
◇ ストラップを取り付ける	5
◇ 分解する	5
各部の名称とはたらき	6
◇ トップ・パネル.....	6
奏法について	6
◇ リア・パネル（機器の接続）	7
準備する.....	8
◇ 電池を入れる	8
◇ 電源を入れる／切る	8
◇ 基本操作	9
◇ Output Mode の設定	9

演奏する.....	10
◇ 音色（キット）を選ぶ.....	10
◇ 曲に合わせて演奏する.....	10
MIX IN 端子を使う	10
Bluetooth 機器を使う	10
◇ レッスン機能を使う（Lesson）	10
地打ちを鳴らす（Ji-uchi）	10
メトロノームを鳴らす（Metronome）.....	10
録音する（Rec）	11
練習する（Practice）	11
Bluetooth® 機能を使う	12
◇ モバイル機器で再生した音楽を TAIKO-1 で鳴らす ..	12
モバイル機器を登録する（Pairing）	12
ペアリング済みのモバイル機器を接続する	12
モバイル機器の音楽を再生する	12
TAIKO-1 全体の設定をする（Others）	13
◇ 工場出荷時の設定に戻す（Factory Reset）	13
主な仕様.....	14

組み立てかた

部品の確認



①	ロッド（パッド取り付けネジ付き）	8
②	パッド	2
③	音源	1
④	ゴム・リング（音源固定用）	4
⑤	トリガー・ケーブル（0.2m）	2
⑥	トリガー・ケーブル（1.0m）（*1）	2
⑦	AC アダプター + 電源コード	1
⑧	ドラム・キー	1
⑨	6 角レンチ（*2）	1
⑩	ケーブル・クランプ	3

*1 トリガー・ケーブル（1.0m）は、担ぎスタイル以外で使うときのケーブルです。
→ 「リファレンス・マニュアル」（PDF）

*2 6 角レンチはヘッドの張り具合の調整で使います。
→ 「リファレンス・マニュアル」（PDF）

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

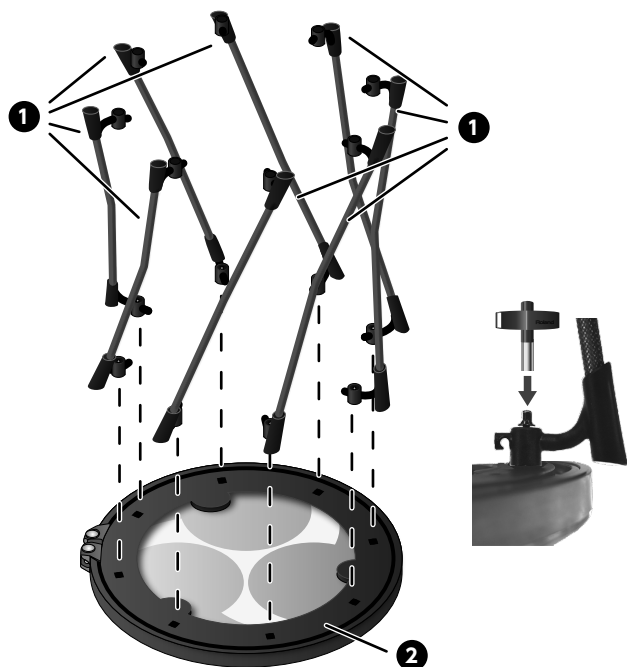
Português

Nederlands

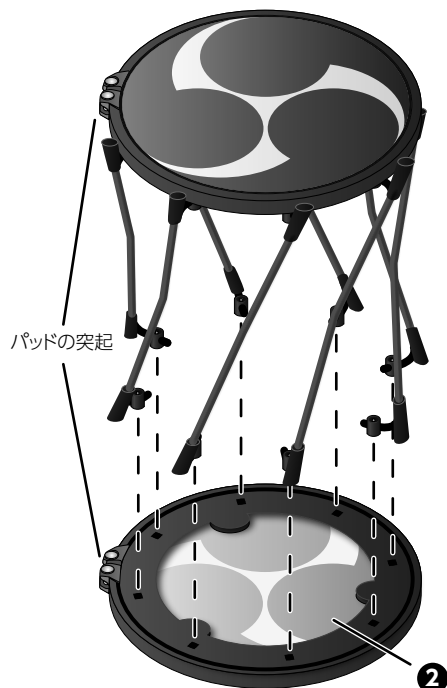
組み立てる

TAIKO-1 や床面のキズ防止のため、必要に応じて毛布などを敷いて組み立ててください。

1. パッドにロッドを取り付ける



- 1-1. パッド (2) を穴のある面が上になるように置きます。
- 1-2. パッドの穴にロッド (1 8箇所) を 1 つずつ順に差し込みます。
- 1-3. ロッド (1 8箇所) のボルトをドラム・キー (8) で回らなくなるまで締めます。
ボルトの頭が見えなくなるくらいが目安です。



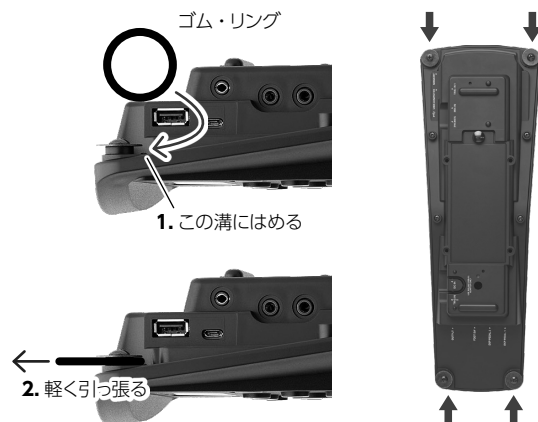
- 1-4. もう 1 つのパッド (2) を、穴のある面が上になるように置きます。
- 1-5. ロッドが取り付けられたパッドをひっくり返し、2 つのパッドの突起が同じ位置になるように向きを合わせて、もう 1 枚のパッドの穴にロッドを 1 つずつ順に差し込みます。
- 1-6. ロッドがパッドの穴に差し込まれていることを確認しながら、ロッド (1 8箇所) のボルトをドラム・キー (8) で回らなくなるまで締めます。

2. 音源を取り付ける

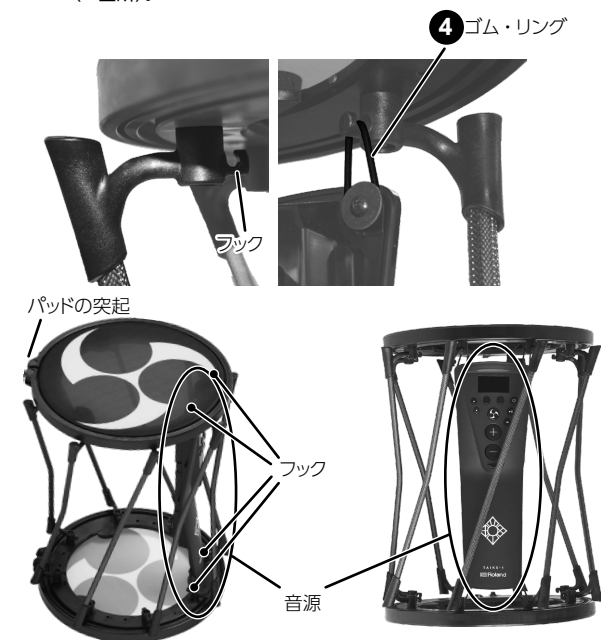
※ 音源を取り付けるときは、ゴム・リングだけでがをしないように気を付けて作業してください。

- 2-1. 音源 (3) にゴム・リング (4) を取り付けます (4 箇所)。

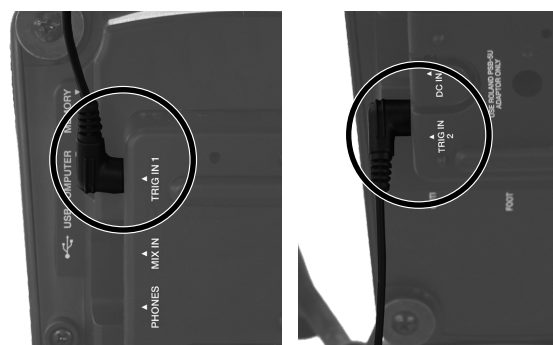
ゴム・リングを軽く引っ張ってゴム・リングが溝にはまるようにします。



- 2-2. パッドの突起の反対側にあるロッドのフックにゴム・リングをかけます (4 箇所)。



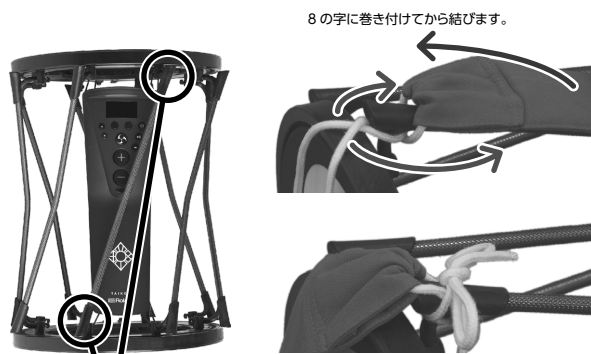
3. トリガー・ケーブルを取り付ける



- 3-1. 2 つのパッドの TRIG OUT 端子に、トリガー・ケーブル (0.2m) (5) を接続します。
- 3-2. ケーブルの反対側を、音源の TRIG IN 1/2 端子に接続します。

ストラップを取り付ける

市販の太鼓用ストラップを取り付けて演奏することができます。
図のようにロッドの先端に巻き付けるように付けます（2箇所）。



この2箇所にストラップを取り付けます。

注意

巻き付けが不十分だとストラップがずれたり、はずれたりすることがあります。落下の原因となるので、しっかりと取り付けてください。

分解する

1. 音源をはずす

- 1-1. ACアダプターやトリガー・ケーブルなどの接続ケーブルを、すべてはずします。
- 1-2. ロッドのフックについたゴム・リングを1つつ引っ張って（4箇所）はずし、音源を取りはずします。



2. パッド1側のロッドのボルトをすべて緩める

- 2-1. ドラム・キーを使って、頭が見えるところまでボルトを緩めます。
ロッドからはずさないで付けておきます。
ロッドのボルトは8本とも緩めてください。



3. パッドからロッドを抜く

- 3-1. 接合部に無理な力をかけないように注意しながら、パッドに対して垂直方向に抜きます。

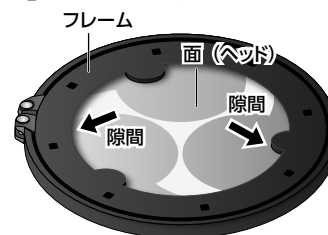


4. パッド2側も同様に分解する

- 4-1. 反対側のパッドも同様にしてボルトを緩めて、ロッドを抜いてください。

面（ヘッド）交換時の注意（手や指を入れない）

図の矢印部分に手や指を入れないでください。けがをしたり破損したりする恐れがあります。



面（ヘッド）やフチ（リム）のラバーは、使っている年月とともに性能が劣化する消耗部品です。ヘッドが破れたり、ヘッドの張り具合を正しく調節してもヘッド面になるみが残ったりするような場合は、ヘッドを交換してください。また、リムのラバーが痛んだ場合は、お買い上げの販売店またはお客さま相談センターまでお問い合わせください。

TAIKO-1 の組み立て手順を動画で説明しています。

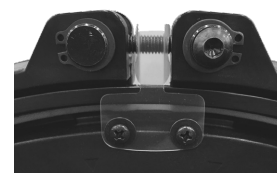
パソコンやスマートフォンで下記 URL にアクセスしてご覧ください。

http://roland.cm/taiko_qs



取り扱いにご注意ください（ネジについて）

突起部分のネジは、面が緩んでしまう恐れがあるので触らないようにしてください。



使用するパッドを指定する（Active Pad）

TAIKO-1 は 2 つのパッドを使用することができますが、片面だけ使用したいときには 1 つのパッドだけを有効にすることができます。裏面の誤作動を防ぐことができます。

1. [MENU] (F2 ボタン) を押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「Trigger」を選び、[SELECT] (F2 ボタン) を押します。
3. [▲] [▼] ボタンで「Active Pad」を選び、[SELECT] (F2 ボタン) を押します。
4. [▲] [▼] ボタンでパッドを選び、[+] [-] ボタンで ON/OFF を切り替えます。

パラメーター [▲] [▼] ボタン	設定値 [+] [-] ボタン	説明
PAD1	ON	パッドを有効にします。
PAD2	OFF	パッドを無効にします。

5. [BACK] (F1 ボタン) を数回押してトップ画面に戻ります。

English

日本語

Deutsch

Français

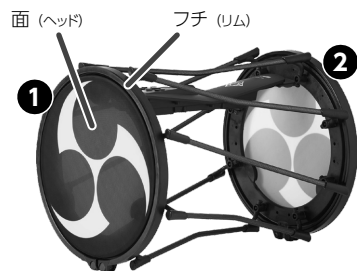
Italiano

Español

Português

Nederlands

各部の名称とはたらき



1 パッド 1 (面 1 / フチ 1)

上面側に組付け、TRIG IN 1 端子に接続したパッドをパッド 1 (PAD1) と呼びます。
面のメッシュ部分をヘッド (PAD1H)、フチのゴム部分をリム (PAD1R) と呼びます。

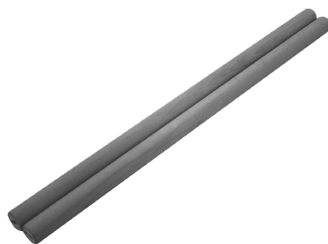
2 パッド 2 (面 2 / フチ 2)

下面側に組付け、TRIG IN 2 端子に接続したパッドをパッド 2 (PAD2) と呼びます。
面のメッシュ部分をヘッド (PAD2H)、フチのゴム部分をリム (PAD2R) と呼びます。

奏法について

使用するバチについて

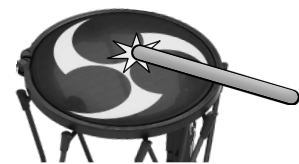
市販の担ぎ桶用 (の朴) バチをお使いください。



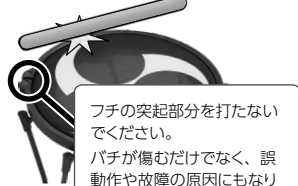
※ TAIKO-1 を演奏するときは、パッドの面やフチ以外の場所 (ロッドや音源など) を打たないでください。誤動作や故障の原因になります。

面 (ヘッド)

フチ (リム)



面を打ちます。
面を打つ位置に応じて音色のニュアンスが変化します。

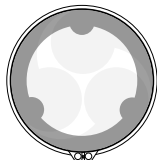


フチの突起部分を打たないでください。
バチが傷むだけでなく、誤動作や故障の原因にもなります。

フチ (ゴム部のみ) を打ちます。
面とは異なる音色が鳴ります。

注意

面とフチの境目のメッシュ部分 (図のグレー部分) を強く叩くと、裏側の部材にバチが当たり、センサーが正しく動作しません。部品の破損の原因にもなりますので、裏の部材に当たらない強さで演奏してください。



メモ

- 同じパッドの面とフチを同時に打つ奏法 (オープン・リム・ショットなども含む) には対応していません。
- パッド 1 のフチとパッド 2 のフチを同時に打つ奏法には対応していません。
- ※ パッドの設置方法によっては、パッド 1 のフチとパッド 2 のフチを同時に打つことができます。
→ 『リファレンス・マニュアル』 (PDF)

トップ・パネル



1 ディスプレイ

操作に応じて、いろいろな情報が表示されます。

2 [▲] [▼] ボタン

カーソルを移動します。選択中の項目は色が反転します。

3 F1 (左) ボタン、F2 (右) ボタン

ディスプレイの表示によって機能が変わるボタンです。ディスプレイ下部に表示されているタブを切り替えたり、機能を設定したりできます。

4 [🔊] (トモエ) ボタン

どの画面を表示していても、トップ画面に戻り、フェイバリット・キットが選ばれます (工場出荷時の設定)。

このボタンの機能は変えることができます。

→ 『リファレンス・マニュアル』 (PDF)

5 [+][-] ボタン

キットを選ぶときや、値を変えるときに使います。

6 [🔌] ボタン

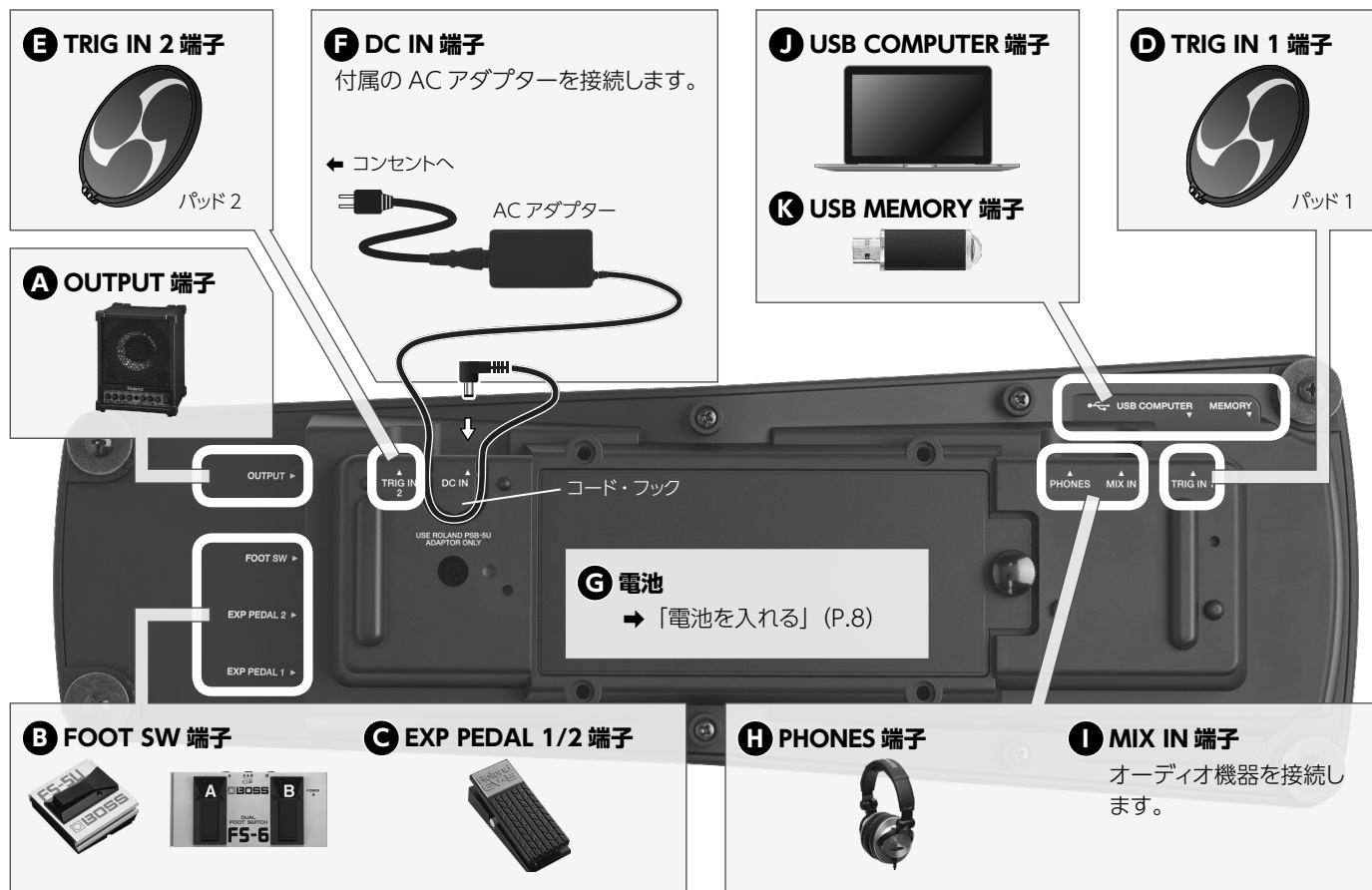
電源をオン/オフします。

7 [🔊] [🔊] ボタン

音量を上げ下げします。ボタンを押すと現在の音量が表示されます (数秒で元の画面に戻ります)。

リア・パネル (機器の接続)

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞りを、すべての機器の電源を切ってください。

**A OUTPUT 端子 (モノ)**

音を出力します。アンプ内蔵スピーカーやミキサーなどに接続します。
必要に応じてケーブル・クランプでケーブルをまとめてください。

**B FOOT SW 端子**

フットスイッチ (別売: BOSS FS-5U、FS-6) を接続して、さまざまなコントロールができます。

→ 『リファレンス・マニュアル』 (PDF)

工場出荷時の設定:

FOOT SW 1/2 でキットを 1 つずつ前後に変えることができます。

C EXP PEDAL 1/2 端子

エクスプレッション・ペダル (別売: EV-5) を接続して、さまざまなコントロールができます。

→ 『リファレンス・マニュアル』 (PDF)

工場出荷時の設定:

EXP PEDAL 1 で全体の音量をコントロールできます。

EXP PEDAL 2 で地打ちの音量をコントロールできます。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

D TRIG IN 1 端子

パッド 1 の TRIG OUT 端子と TRIG IN 1 端子を付属のトリガー・ケーブルで接続します。

E TRIG IN 2 端子

パッド 2 の TRIG OUT 端子と TRIG IN 2 端子を付属のトリガー・ケーブルで接続します。

F DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※ AC アダプターのコードは、図のようにコード・フックを使って固定してください。

G 電池

→ 「電池を入れる」 (P.8)

H PHONES 端子

ヘッドホンに接続します。ステレオ・ミニ・プラグで接続します。ヘッドホンに接続しても、アウトプット端子からは音が出力されません。

I MIX IN 端子

外部オーディオ機器に接続します。
ステレオ・ミニ・プラグで接続します。

J USB COMPUTER 端子

TAIKO-1 とパソコンを USB ケーブルで接続します。

※ 充電専用のマイクロ USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

K USB MEMORY 端子

USB メモリーに接続します。

→ 『リファレンス・マニュアル』 (PDF)

※ 画面に「Processing...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

準備する

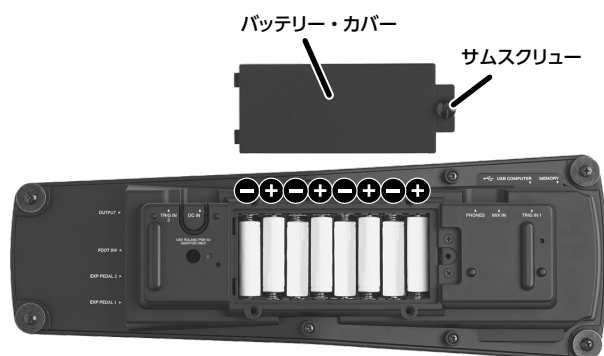
電池を入れる

AC アダプター以外に、市販の単 3 形ニッケル水素電池を使って使用することができます。

- ※ AC アダプター使用時は、電池を入れていても AC アダプターで動作します。
- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

1. バッテリー・カバーをはずします。

- 1-1. バッテリー・カバーのサムスクリューをはずします。
- 1-2. バッテリー・カバーを手前側にはずします。



2. 電池の向きに注意して、電池をバッテリー・ケースに入れます。

3. バッテリー・カバーを閉めます。

- ※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.2））に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

電池残量の表示

電池容量が少なくなると、ディスプレイの右上に電池残量不足のアイコン（)が表示されます。早めに新しい電池と交換してください。

電池容量が少ないまま使い続けると、「Battery Low!」と表示され、最終的に TAIKO-1 のすべての機能が停止します。



電源を入れる／切る

- ※ 電源を入れる／切るときは、接続した機器の音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる



1. TAIKO-1（[ON] ボタンを押す）→ 接続した機器の順番で、電源を入れます。

2. [<v>] [>v>] ボタンで音量を調節します。

- ※ 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（Auto Off 機能）。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください。
→ 「画面や Auto Off の設定をする」（P.13）
- 電源が切れると保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

電源を切る

1. 接続した機器 → TAIKO-1（[ON] ボタンを長押しする）の順番で、電源を切ります。

基本操作

機能の設定 (F1 / F2 ボタン)



F1 ボタン F2 ボタン

ディスプレイ下部に表示されている機能を実行します。

表示される機能は画面によって変化します。

※ 取扱説明書の説明は、「MENU」(F2 ボタン) のように「機能」と (ボタン) を並記します。

カーソルの移動 (▲ ▼ ボタン)



▲ ▼ ボタン

カーソルは、画面上の設定可能な部分を反転表示します。画面の中に設定する内容がいくつかあるときは、▲ ▼ ボタンを押して設定したいところにカーソルを合わせます。

メモ

ある方向のボタンを押しながら反対方向のボタンを押すと、カーソルの移動が速くなります。

値の変更 ([-] [+] ボタン)



[-] [+] ボタン

カーソルで反転表示された値を変更するには、[-] [+] ボタンを使います。

メモ

[+] ボタンを押しながら [-] ボタンを押すと値が速く大きくなり、[-] ボタンを押しながら [+] ボタンを押すと値が速く小さくなります。

Output Mode の設定

1. 「MENU」(F2 ボタン) を押します。
2. ▲ ▼ ボタンで「Others」を選び、「SELECT」(F2 ボタン) を押します。
3. ▲ ▼ ボタンで「Output Setting」を選び、「SELECT」(F2 ボタン) を押します。
4. 「Output Mode」パラメーターで出力先の機器を選びます。

パラメーター ▲ ▼ ボタン	設定値 [+] [-] ボタン	説明
Output Mode	Phones	ヘッドホンで使用するのに最適なサウンドになります。
	Speaker	OUTPUT 端子からの出力に最適なサウンドになります。

バースト

⚡ (トモエ) ボタンを押しながら [+] [-] ボタンを押すと、高速で値を変えることができます。

演奏する

音色（キット）を選ぶ

TAIKO-1 は 2 つのパッドの面とフチにそれぞれ別々の音が割り当ててあります。この 4 つの音のセットをキットと呼びます。

キットのプリセットは 50 個あります。キットを変えることで多彩な音色で演奏することができます。

1. 「BACK」 (F1 ボタン) を何度か押して、トップ画面を表示します。
2. 「[-] [+]」 ボタンを押して、キットを選びます。

トップ画面について

この画面は、電源を入れると表示される、TAIKO-1 の基本となる画面です。



メモ

キットの音色はエディット（編集）することができます。
詳しくは、『リファレンス・マニュアル』（PDF）をご覧ください。

曲に合わせて演奏する

MIX IN 端子を使う

外部機器の出力を MIX IN 端子から入力すると、外部機器の音楽に合わせて演奏することができます。

※ 再生音量を調節するときは、モバイル機器側の音量を調節します。

Bluetooth 機器を使う

外部機器と Bluetooth 接続することで、外部機器の音楽に合わせて演奏することができます。

➡ 「Bluetooth® 機能を使う」 (P.12)

レッスン機能を使う (Lesson)

地打ちやメトロノームを鳴らすことや、録音／再生、正確なリズムを叩く練習をすることができます。

地打ちを鳴らす (Ji-uchi)

TAIKO-1 では、地打ちをメトロノームのように鳴らすことができます。地打ちを鳴らしながら演奏すると、基礎打ちや曲演奏の練習に使えます。

地打ちとは？

地打ちとは、曲の基本になるリズムのことです。

地打ちをメトロノームのように打って、それに合わせて曲演奏をします。

また、地打ちには曲の抑揚やテンポを決める進行役としての役割もある（オーケストラでは指揮者にあたる）ので、とても重要なパートです。

1. 「MENU」 (F2 ボタン) を押します。
2. 「▲」 「▼」 ボタンで 「Lesson」 を選び、「SELECT」 (F2 ボタン) を押します。
3. 「▲」 「▼」 ボタンで 「Ji-uchi」 を選び、「SELECT」 (F2 ボタン) を押します。

設定画面が表示されます。



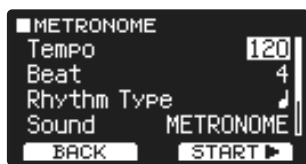
パラメーター 【▲】 【▼】 ボタン	設定値 【+】 【-】 ボタン	説明
Ji-uchi Volume	0 ~ 31、MAX	地打ちの音量を設定します。
Track	➡ 『リファレンス・マニュアル』（PDF）	地打ちのパターンを選びます。
Tempo	20 ~ 260	テンポを設定します。
Velocity	1 ~ 32	音の強さを設定します。

4. 「PLAY ▶」 (F2 ボタン) を押します。
地打ちを鳴らしながら他の画面に変えることができます。
5. 「STOP ■」 (F2 ボタン) を押します。
地打ちの設定画面以外を表示しているときは、地打ちの設定画面を表示して「STOP ■」 (F2 ボタン) を押します。
6. 「BACK」 (F1 ボタン) を数回押してトップ画面に戻ります。

メトロノームを鳴らす (Metronome)

1. 「MENU」 (F2 ボタン) を押します。
2. 「▲」 「▼」 ボタンで 「Lesson」 を選び、「SELECT」 (F2 ボタン) を押します。
3. 「▲」 「▼」 ボタンで 「Metronome」 を選び、「SELECT」 (F2 ボタン) を押します。

設定画面が表示されます。



パラメーター [▲] [▼] ボタン	設定値 [+] [-] ボタン	説明
Tempo	20 ~ 260	メトロノームのテンポを設定します。
Beat	1 ~ 9	拍子 (1 小節の拍数) を設定します。
Rhythm Type	♪ ~ ♩	メトロノームの間隔を設定します。
Sound	→ 『リファレンス・マニュアル』 (PDF)	メトロノームの音色を設定します。
Pan	L30 ~ CTR ~ R30	メトロノームの定位を設定します。
Metronome Volume	0 ~ 31, MAX	メトロノームの音量を設定します。

4. 「START ►」 (F2 ボタン) を押します。
5. 「STOP ■」 (F2 ボタン) を押します。
6. 「BACK」 (F1 ボタン) を数回押して、トップ画面に戻ります。

録音する (Rec)

演奏を録音して繰り返し鳴らすことができます。

1. 「MENU」 (F2 ボタン) を押します。
2. 「▲」 「▼」 ボタンで 「Lesson」 を選び、「SELECT」 (F2 ボタン) を押します。
3. 「▲」 「▼」 ボタンで 「Rec」 を選び、「SELECT」 (F2 ボタン) を押します。
STANDBY 画面になります。
4. 「START」 (F2 ボタン) を押して録音します。
RECORDING... 画面に変わり、録音がスタートします。
5. 「STOP」 (F1 ボタン) を押して停止します。
PLAYBACK 画面が表示されます。



LOOP: 繰り返し再生するときは ON にします。
1 回だけ再生するときは OFF にします。

6. 「PLAY ►」 (F2 ボタン) を押して再生します。
停止するときは 「STOP ■」 (F2 ボタン) を押します。
7. 終了するときは 「BACK」 (F1 ボタン) を押します。
確認画面が表示されます。
キャンセルするときは、「CANCEL」 (F1 ボタン) を押します。

注意

PLAYBACK 画面から抜けると、録音した内容は失われます。

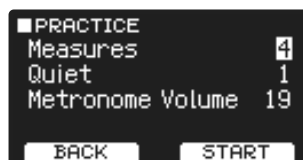
8. 「+」 ボタンを押して PLAYBACK 画面から抜けます。
STANDBY 画面になります。
9. 「BACK」 (F1 ボタン) を数回押して、トップ画面に戻ります。

練習する (Practice)

身体でテンポを覚えるための練習です。

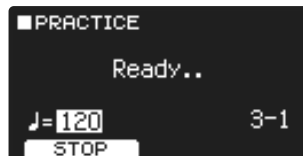
最初の数小節は設定された音量でメトロノームが鳴り、次の数小節はメトロノームは鳴りません。停止するまで、この数小節間隔のサイクルが続きます。

1. 「MENU」 (F2 ボタン) を押します。
2. 「▲」 「▼」 ボタンで 「Lesson」 を選び、「SELECT」 (F2 ボタン) を押します。
3. 「▲」 「▼」 ボタンで 「Practice」 を選び、「SELECT」 (F2 ボタン) を押します。
設定画面が表示されます。

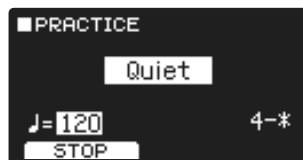


パラメーター [▲] [▼] ボタン	説明
Measures	「メトロノーム発音」と「Quiet」の繰り返し区間の長さ (小節) を設定します。
Quiet	Measures で設定した小節のうち、Quiet にする小節の長さを設定します。
Metronome Volume	メトロノーム音の音量を設定します。

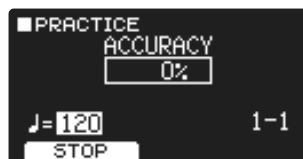
4. 「START」 (F2 ボタン) を押して、練習を始めます。
5. メトロノームのテンポに合わせて、パッドを打ちます。
最初の数小節はメトロノームが鳴ります。メトロノームが発音する最後の小節になると、画面に 「Ready..」 と表示されます。



メトロノームが鳴り終わると、画面の表示が 「Quiet」 に変わります。この間もパッドを打ち続けます。



Quiet の区間のあと、正確なテンポで打った割合が 「%」 で表示されます。



6. 「STOP」 (F1 ボタン) を押して、練習を終了します。
7. 「BACK」 (F1 ボタン) を数回押して、トップ画面に戻ります。

Bluetooth[®] 機能を使う

モバイル機器で再生した音楽を TAIKO-1 で鳴らす

モバイル機器を登録する (Pairing)

「ペアリング」とは、使いたいモバイル機器を本機に登録する（お互いに認証する）ための手続きです。

モバイル機器に保存している音楽データを、ワイヤレスで本機から鳴らす設定をします。

メモ

- 本機とのペアリングが済んだモバイル機器は、再度ペアリングする必要はありません。ペアリングが済んだモバイル機器と本機を接続するときは、「ペアリング済みのモバイル機器を接続する」(P.12) をご覧ください。
- ファクトリー・リセット (P.13) をしたときは、再度ペアリングが必要です。
- 以下の操作説明は一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

1. 接続したいモバイル機器を、本機周辺に置きます。
2. [MENU] (F2 ボタン) を押します。
MENU 画面が表示されます。
3. [▲] [▼] ボタンで「Bluetooth」を選び、[SELECT] (F2 ボタン) を押します。
Bluetooth 画面が表示されます。
4. [▲] [▼] ボタンで「Setup」を選び、[SELECT] (F2 ボタン) を押します。
5. [▲] [▼] ボタンで「Bluetooth *」を選び、[+] [-] ボタンで「ON」にします。
すでに「ON」の場合は次の手順に進みます。
6. [PAIRING] (F2 ボタン) を押します。
「Now Pairing...」と表示され、本機はモバイル機器からの応答を待ちます。
7. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。

メモ

操作説明は iPhone を使ったときの一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

8. モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「TAIKO-1 Audio」をタップします。
本機とモバイル機器がペアリングされます。ペアリングが成功すると、モバイル機器の「ペアリングされた機器」リストに「TAIKO-1 Audio」が追加されます。
TAIKO-1 の画面に「Connected (Audio)」と表示されます。
9. [BACK] (F1 ボタン) を数回押して、トップ画面に戻ります。

ペアリング済みのモバイル機器を接続する

1. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。

メモ

- 上記の操作で接続ができなかったときは、モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「TAIKO-1 Audio」をタップしてください。
- 切断するときは、本機の Bluetooth 機能を「OFF」([MENU] → 「Bluetooth」 → 「Setup」 → 「Bluetooth *」を「OFF」) にするか、モバイル機器の Bluetooth 機能をオフにします。

モバイル機器の音楽を再生する

1. モバイル機器と Bluetooth 接続します。
 2. モバイル機器の音楽アプリで曲を再生します。
TAIKO-1 から音が鳴ります。
- ※ 再生音量を調節するときは、モバイル機器側の音量を調節します。

TAIKO-1 全体の設定をする (Others)

TAIKO-1 の出力先の設定やフットスイッチの設定など、TAIKO-1 全体に共通の設定をします。

1. [MENU] (F2 ボタン) を押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「Others」を選び、[SELECT] (F2 ボタン) を押します。

以下の項目が表示されます。

項目	説明								
Output Settings	OUTPUT 端子の設定をする ⇒『リファレンス・マニュアル』(PDF)								
Control Settings	ペダル端子やショートカットの設定をする TAIKO-1 に接続したフットスイッチ (別売:BOSS FS-5U、FS-6) に、キットの切り替えやセット・リストの切り替えなどの機能を割り当てたり、エクスプレッション・ペダル (別売:EV-5) に、ピッチや音量、地打ちのテンポなどを割り当てたりすることができます。 また、  (トモエ) ボタンの機能 (ショートカット) を変えることもできます。 ⇒『リファレンス・マニュアル』(PDF)								
Global MIDI	MIDI に関する設定をする ⇒『リファレンス・マニュアル』(PDF)								
Master EQ	マスター・イコライザーの設定をする ⇒『リファレンス・マニュアル』(PDF)								
Master Comp	マスター・コンプレッサーの設定をする ⇒『リファレンス・マニュアル』(PDF)								
LCD/Auto Off	画面や Auto Off の設定をする 画面の明るさなどの調整やシステム設定をします。								
	<table><tr><th>パラメーター [▲] [▼] ボタン</th><th>設定値／説明 [+] [-] ボタン</th></tr><tr><td>LCD Contrast</td><td>1 ～ 16: ディスプレイのコントラストを調節します。</td></tr><tr><td>LCD Backlight</td><td>1 ～ 16: ディスプレイの明るさを調節します。</td></tr><tr><td rowspan="2">Auto Off</td><td>OFF: 電源は自動的に切れません。 4 HOURS / 10 MINUTES: 4 時間以上、または 10 分以上 TAIKO-1 を打たなかったり何も操作をしなかったりすると、自動的に電源が切れます。</td></tr></table>	パラメーター [▲] [▼] ボタン	設定値／説明 [+] [-] ボタン	LCD Contrast	1 ～ 16 : ディスプレイのコントラストを調節します。	LCD Backlight	1 ～ 16 : ディスプレイの明るさを調節します。	Auto Off	OFF : 電源は自動的に切れません。 4 HOURS / 10 MINUTES : 4 時間以上、または 10 分以上 TAIKO-1 を打たなかったり何も操作をしなかったりすると、自動的に電源が切れます。
	パラメーター [▲] [▼] ボタン	設定値／説明 [+] [-] ボタン							
	LCD Contrast	1 ～ 16 : ディスプレイのコントラストを調節します。							
	LCD Backlight	1 ～ 16 : ディスプレイの明るさを調節します。							
Auto Off	OFF : 電源は自動的に切れません。 4 HOURS / 10 MINUTES : 4 時間以上、または 10 分以上 TAIKO-1 を打たなかったり何も操作をしなかったりすると、自動的に電源が切れます。								
Version Info	本体に関する情報を表示する プログラムのバージョンなど、TAIKO-1 本体に関する情報を表示します。								
Factory Reset	工場出荷時の設定に戻す ⇒「工場出荷時の設定に戻す (Factory Reset)」(P.13)								

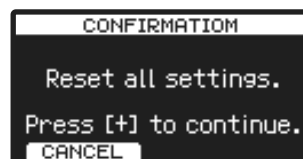
3. [▲] [▼] ボタンで項目を選び、[SELECT] (F2 ボタン) を押します。
4. [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、[+] [-] ボタンで設定を変更します。
5. [BACK] (F1 ボタン) を数回押して、トップ画面に戻ります。

工場出荷時の設定に戻す (Factory Reset)

TAIKO-1 で変更し保存した設定を、工場出荷時の設定に戻すことができます。

※ この操作を実行すると、音色パラメーターを含め、保存した設定内容はすべて失われます。

1. [MENU] (F2 ボタン) を押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「Others」を選び、[SELECT] (F2 ボタン) を押します。
3. [▲] [▼] ボタンで「Factory Reset」を選び、[SELECT] (F2 ボタン) を押します。
確認画面が表示されます。



中止するときは、「CANCEL」([F1] ボタン) を押します。

4. 実行するときは [+] ボタンを押します。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

主な仕様

パッド数	2 1 / パッドにつき音色を 2 種類アサインできます（面／フチ）。
キット数	100（プリセット：50）
音色数	100 以上
ユーザー・サンプル	ユーザー・サンプル数 = 最大 500 音の長さ（合計）：モノ 24 分、ステレオ 12 分 ファイル形式 = WAV（44.1kHz、16 ビット、ステレオ／モノ） ※ ステレオ音源の場合、OUTPUT 端子からは L、R がミックスされた音がモノで出力されます。
エフェクト	20 種類以上
Bluetooth	対応規格 = Bluetooth 標準規格 Ver4.2、 対応プロファイル = A2DP（オーディオ） GATT（MIDI over Bluetooth Low Energy）、 対応コーデック = SBC（SCMS-T 方式によるコンテンツ保護に対応）
ディスプレイ	グラフィック LCD 128 × 64 ドット
外部メモリー	USB メモリー（別売）
接続端子	OUTPUT（MONO）端子（標準タイプ） PHONES 端子（ステレオ・ミニ・タイプ） MIX IN 端子（ステレオ・ミニ・タイプ） TRIG IN 端子×2（専用） FOOT SW 端子（TRS 標準タイプ） EXP PEDAL 端子×2（TRS 標準タイプ） USB MEMORY 端子 USB COMPUTER 端子（MIDI）Micro-B DC IN 端子
電源	AC アダプター（DC12V） ニッケル水素電池（単 3 形）× 8 ※ アルカリ電池、マンガン電池はご使用いただけません。

消費電流	500mA（DC IN）
連続使用時の電池の寿命	ニッケル水素電池：約 5 時間（容量 1,900mAh 使用時） ※ 使用状態や電池、USB メモリーの種類によって異なります。
外形寸法、質量	430（W）× 430（D）× 521（H）mm
質量	4.5kg（本体のみ）
付属品	取扱説明書 「安全上のご注意」チラシ AC アダプター、電源コード ゴム・リング（音源固定用）× 4 トリガー・ケーブル（0.2m）× 2 トリガー・ケーブル（1.0m）× 2 ドラム・キー 6 角レンチ ケーブル・クランプ × 3
別売品	パーソナル・モニター（KC シリーズ） フットスイッチ（BOSS FS-5U、FS-6、FS-7） エクスプレッション・ペダル（EV-5、BOSS EV-30）

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

お問い合わせの窓口



ホームページからのお問い合わせ

Q&A、チャットサポート、メールでお問い合わせ

Roland製品

http://roland.cm/roland_support

BOSS製品

http://roland.cm/boss_support



電話でのお問い合わせ

ローランドお客様相談センター

050-3000-9230

電話受付時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00
（祝日および弊社規定の休日を除く）

'20. 04. 01 現在

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1